

特集

憧れのあの人の言葉を
聴きたい!

世界の英語で 耳トレ *Part 1*

[米・英・豪・NZ編]

ハリウッドの人気俳優、世界で活躍するリーダーたちのインタビュー集をお届けいたします。英語を聞き取れない理由の1つ「音声変化」の仕組みと、リスニング力を高めるのに効果抜群の「トレーニング法」を基礎から徹底解説。今月はアメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド各国の英語の違いを学び、実際にインタビュー音声を聴いてみましょう。憧れのあの人の英語にたっぷり聴き惚れて、お楽しみください。執筆：里井久輝（龍谷大学教授）

gualtiero boffi@Shutterstock.com(p.53) / pathdoc@Shutterstock.com(pp.54-55) / OneLineStock.com@Shutterstock.com(p.55) / ra2_studio@Shutterstock.com(p.56) / YAKOBCHUK VIACHESLAV@Shutterstock.com(p.57) / melitas@Shutterstock.com(pp.56-57) / gmstockstudio@Shutterstock.com(p.58) / Puwadol Jaturawutthichai@Shutterstock.com(p.58, 63) / Ihnatovich Maryia@Shutterstock.com(p.61) / Yuriy Boyko_Ukraine@Shutterstock.com / Taras Vyshnya@Shutterstock.com / natchapohn@Shutterstock.com / Blue Planet Studio@Shutterstock.com(p.63) / 画像・音声 Getty Images(pp.59-62)

リスニングの基本の“き”を

「知っている英単語が並んでいるはずなのに、ネイティブの発音が聞き取れない」、そのような経験をしたことはないでしょうか。日本語のように基本的に1音ずつはっきりと発音されればわかりやすいのですが、英語の発話の連続音声では、つづり通りではない音の変化が頻繁に生じます。

これらの音の変化には、強弱・連結・脱落・同化などの音声現象があり、いずれもリスニングの基本ですので、しっかりおさえておきましょう。

1 強勢と弱化 強勢音節の聞き取りを意識しよう

英語は強弱アクセントの言語といわれ、語・句・文のいずれも、アクセントのある強勢音節と、アクセントのない弱音節から成っています。

強勢音節は、呼吸が強いだけでなく、母音をはっきりと長めに発音され、ピッチ（音の高さ）の変化を伴うのが普通です。したがって強勢音節は連続音声の中で目立って（はっきりとわかりやすく）聞こえる部分であり、同時に英語のリズムビートの核になります。

英語の弱音節は、文中の英語のリズムを整える働きがあります。英語には「強勢拍リズム」と呼ばれる、強勢音節間の長さを等間隔に保とうとする傾向があり、弱音節中の母音は短め・速め、あいまいに発音されます（これを母音の弱化と言いま

す）。ですので、弱音節の部分の聞き取りは、強勢音節に比べて格段に難しく感じられるのも当然のことと言えます。

例 It's 'hard for me to 'say I'm 'sorry.
W S W W W S W S W
(' ')は強勢記号：直後の音節が強勢音節
(wは弱音節、sは強勢音節を表します)

英語では一般に、内容語といわれる、具体的な意味内容がすぐにイメージできる語（名詞・形容詞・一般動詞・副詞・指示代名詞・疑問詞など）の強勢音節の部分がはっきりと強調されますので、リスニングの際には、まずは強勢音節をきちんと聞き取り、内容語を把握することが重要です。

2 連結

日々のリスニングでもすぐ気づくことですが、普通の速さの英語音声は1語ずつ区切って発音されることはなく、自然につながるころでは必ずつなげて発音されます。一般には、「前の単語の語末の子音+後続の単語の語頭の母音」が連結して発音されます。

例 think about come in sing a song
/kə/ /mɪ/ /ŋə/

私たちが音読する際に、このような連結は自然に行っていますね。日本語を母語とする英語学習者の注意すべき連結の現象として次のようなものが挙げられますので、確認しておきましょう。

/n/の連結 an egg one of an hour
/ne/ /nə/ /naʊə/

/r/の連結 for example there is after all
/rɪ/ /rɪ/ /rɔː/

/t/の連結 about it a lot of Not at all.
/rɪlɪt/ /rələtə/ /rələtə/ /rɔːltə/
(/アメリカ発音 | イギリス発音/)

なお、前後を母音で挟まれる/t/の連結については、イギリス発音ではつづり通りの/t/の音ですが、アメリカ発音では一度舌を弾いて「ラ行」に聞こえる弾き音/r/や、/t/が有声化して「ダ行」の出だしの子音/d/になります。